

# 《香取市自治体 DX 推進方針》

## 1, 基本的な考え方

### (1) 趣旨

経済情勢の低迷や人口減少・少子高齢化の進行など、社会情勢は大きく変化しているなか、新型コロナウイルス感染症への対応等において組織間でデータが十分に活用されていないなど課題が明らかとなりました。

このデジタル化（デジタル技術を活用した新たなサービス等の実現）の遅れに対して制度や組織の在り方等をデジタル化に併せて変革していく「デジタル・トランスフォーメーション（以下「DX」という。）」が求められています。

香取市でも、住民に身近な行政を担う地方公共団体として、住民サービスの向上・行財政運営の効率化のため、自治体としてのデジタル・トランスフォーメーション（以下「自治体 DX」という。）を推進していく必要があります。

### (2) 位置づけ

国の自治体 DX 推進計画等を踏まえながら、市の最上位計画である「香取市総合計画」の推進を支え、香取市が取り組む自治体 DX の方針を示すものです。

【国の主な施策】

- デジタル社会形成基本法
- 情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律
- 官民データ活用推進基本法
- 自治体 DX 推進計画
- 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律

香取市自治体 DX 推進方針

香取市  
総合計画

### (3) 期間

本方針は、近年の社会情勢の激しい変化や驚異的な技術革新のスピードに対応できるように、終期は定めず、柔軟に見直しを行いながら、継続的に自治体 DX の推進を支えるものとします。

## 2, デジタル化の動向

### (1) 国、県の動向

国のデジタル化については、2001（平成 13）年 1 月に策定された「高度情報通信ネットワーク社会形成基本法」の制定から具体的なデジタル化が進められ、その後「官民データ活用推進基本法」、「デジタル社会形成基本法」等が制定されました。

また、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容を具体化し、総務省及び関係省庁による支援策等を取りまとめた「自治体 DX 推進計画」を策定しました。

自治体 DX 推進計画の中では重点取組事項として、

- (1) 自治体の情報システムの標準化・共通化
- (2) マイナンバーカードの普及促進
- (3) 自治体の行政手続のオンライン化
- (4) 自治体の AI・RPA の利用促進
- (5) テレワークの推進
- (6) セキュリティ対策の徹底

※総務省 自治体 DX 推進手順書 取組工程表

が挙げられています。

また、千葉県でも千葉県 ICT 利活用戦略へ DX の理念を反映させた「千葉県 DX 推進戦略」への見直しを進めています。

取組事項	2021年度 (令和 3 年度)	2022年度 (令和 4 年度)	2023年度 (令和 5 年度)	2024年度 (令和 6 年度)	2025年度 (令和 7 年度)	【参考】 目標時期
BPRの取組みの徹底	大まかな取組内容					
自治体の情報システムの標準化・共通化	大まかな取組内容					令和 7 年度
	【参考】ガバメントクラウド	先行事業（一部稼働）	「ガバメントクラウド」の提供			
【参考】標準化	仕様決定・仕様の調整（データ要件・連携要件等、17職員の機密要件）	標準準拠システム開発（「ガバメントクラウド」上でのサービス提供前提）【事業費】				
マイナンバーカードの普及促進	大まかな取組内容					令和 4 年度末
自治体の行政手続のオンライン化	大まかな取組内容					令和 4 年度末 ※1
	【参考】標準仕様	IDドットイベントのオンライン接続に係る標準仕様の提供				
セキュリティ対策の徹底	大まかな取組内容					令和 4 年度末 ※2
自治体の AI・RPA の利用促進	大まかな取組内容					-
テレワークの推進	大まかな取組内容					-
地域社会のデジタル化	大まかな取組内容					-
...	大まかな取組内容					-

※1 令和 4 年度末を目標として、原則、全自治体で、特に国民の利便性向上に資する手続について、マイナンバーカードからマイナンバーカードを用いてオンライン手続を可能にする。  
 ※2 自治体情報セキュリティクラウドについて、令和 4 年度末までに、都道府県の主導により、総務省が設定した高いセキュリティレベル（標準要件）を満たす民間のクラウドサービス利用型への移行を行う。

### (2) 香取市の取組

香取市では、総合計画及び情報化推進計画に基づき、各種デジタル化を推進してきましたが、今後は更なる住民サービスの向上・行財政運営の効率化のため、自治体 DX を進めていく必要があります。

#### ■今までの主なデジタル化の取組(過去 5 年間)

- 統合型 GIS 導入(H30)、テレワーク運用開始、避難所用端末導入(R02)、ぴったりサービスによるオンライン申請受付開始(R04)

## 3, 推進方針

### (1) デジタル技術を活用した住民サービスの向上 ～選べる豊かさ、ちょうどいい田舎～

デジタル技術を活用し、住民が行う行政手続のオンライン化を進めるなど、住民が利便性を享受出来るサービス導入を検討します。

オンラインで自宅からの手続きを希望する方や今まで通り窓口での手続きを希望する方など、住民ニーズは多様ですので、自分にあったサービスを選択出来ることで、住民満足度の向上を図ります。

#### 【取組例】

- パソコン・スマートフォンからのオンライン申請手続きの拡充
- AI チャットボット等による 24 時間体制の問い合わせ対応

※「■」は国の重点取組事項とリンクする取組例

### (2) 行財政運営の効率化 ～身の丈にあったデジタル化～

デジタル技術を活用し、システムが処理出来るものはシステムで行い、職員でなければできない業務に職員のリソースを向けることで、職員削減等への対応を検討します。

また、システム導入に併せて、各業務の在り方を見直すことで、更なる業務の効率化を図ります。

#### 【取組例】

- BPR 等の取り組みによる業務の見える化、再構築
- 自治体システムの標準化対応
- AI-OCR・RPA 等による省力化
- テレワークの活用

### (3) セキュリティ対策の徹底 ～負のデジタルを回避～

デジタルの負の側面としてある、情報漏えい等のセキュリティ事故を防ぐため、更なるシステムの対策を実施するとともに、職員研修等の充実により、職員一人ひとりのセキュリティ意識の向上を図ります。

#### 【取組例】

- 職員研修等の充実
- 新しいシステム、取組等の情報共有

### (4) 持続可能な人材の確保 ～変革の流れを止めない～

DX を一時的なブームとしないためには、継続的に業務改善を検討していくという職員の意識が最も重要です。

職員の意識向上、スキル向上に向けた取組を推進するとともに、国・県の支援の活用や外部人材の活用等を検討し、デジタル人材の確保を図ります。

#### 【取組例】

- 最新の情報収集とシステム検討
- セキュリティ研修の充実による職員の意識向上
- 外部人材活用の検討

## 4, 推進体制

### (1) 推進の考え方

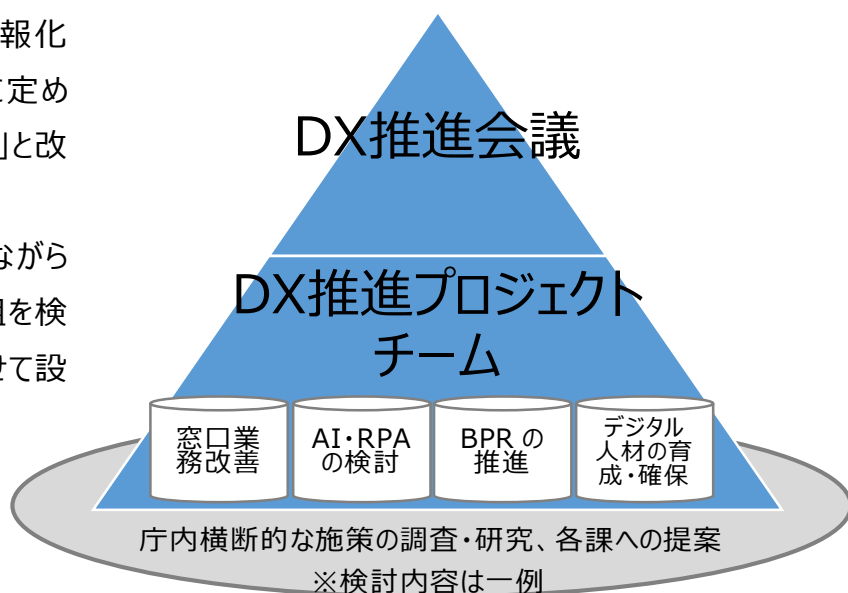
PDCA サイクルにより、本推進方針に基づき実施された施策について、進捗管理及び効果を検証し、必要に応じ改善を行います。

また、デジタル施策の実施に当たってはスピード感が求められる場合も多くあります。場面に応じて、OODA ループの考え方により、迅速な対応を図ります。

### (2) 推進体制

全庁的な推進体制として、香取市情報化推進及び情報システム管理運営規程に定める情報化推進委員会を「DX 推進会議」と改組し、全庁的な施策展開を推進します。

また、庁内の様々な意見を取り入れながら自治体 DX 推進に向けた横断的な取組を検討する「DX 推進プロジェクトチーム」も併せて設置し、具体的な検討を進めます。



香取市自治体 DX 推進方針

令和 5 年 2 月

作成：香取市総務部総務課

〒287-8501 千葉県香取市佐原□ 2127 番地

電話：0478-54-1111